

# 日本教授学習心理学会

(第3号通信・第14回年会プログラム)



**日本教授学習心理学会 第14回年会**

**2018年7月7日・8日  
山梨大学甲府キャンパス**

## 第 14 回年会の開催にあたって

会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、来る 7 月 7 日（土）・8 日（日）に、山梨大学甲府キャンパスにおいて日本教授学習心理学会第 14 回年会を開催する運びになりました。短い会期ではありますが、充実した研究交流の場になることを願っております。皆様のお越しを心よりお待ち申し上げます。

2018 年 5 月

第 14 回年会準備委員会 委員長 梶原郁郎

### 【Ⅰ】会場（S1 号館）

山梨大学甲府キャンパス **S1 号館**（表紙写真の右側の建物：〒400-8510 甲府市武田 4-4-37）。最寄り駅は JR 甲府駅です。バス停「山梨大学」すぐの中央西門（表紙写真）から入って下さい。正面左が図書館、正面右が **S1 号館**（表紙写真の右側の建物）になります。

### 【Ⅱ】交通手段

<電車・バス>

#### ①新宿 ⇄ 甲府駅

- ・電車：JR 中央線：特急「あずさ」又は「かいじ」で甲府駅下車。
- ・バス：新宿駅バスターミナルにて乗車し、甲府駅下車。

#### ②名古屋 ⇄ 甲府駅

- ・電車：JR 中央本線・塩尻で特急「しなの」から特急「あずさ」に乗り換え、甲府駅下車。
- ・電車：東海道新幹線・JR 身延線（静岡駅経由）/静岡で新幹線「ひかり」から特急「ふじかわ」に乗り換え、甲府駅下車。
- ・バス：JR 名古屋駅前バスセンターより乗車し、甲府駅下車。

#### ③甲府駅 ⇄ 甲府キャンパス

- ・バス：「甲府駅北口」**2 番バス乗り場**より「武田神社または積翠寺」行き約 5 分、「山梨大学」下車（土日のため本数が少ないのでご注意ください → 時刻表後掲）
- ・徒歩：甲府駅北口より武田通りを武田神社に向かって北上、徒歩約 15 分。
- ・タクシー：1～2 区間

<自動車（東京 ⇄ 甲府キャンパス）>

中央自動車道「甲府昭和 IC」で下りて、一般道を北東の方角へ国道 20 号線またはアルプス通り経由で IC から約 20 分（駐車スペースが少ないので、なるべく避けて下さい）。

### 【Ⅲ】受付

1. 年会期間中は参加章（所属・氏名が記載されたもの）をお付け下さい。
2. 参加費を前納された方は受付にお名前をお申し出ください（**参加章は当日配布**）。
3. 会員の方で参加費を前納されていない方、および非会員の方で臨時に年会に参加される方は「**参加申込用紙**」に必要事項をご記入の上、参加費（一般 7,000 円・大学院生 4,000 円・学部学生 2,000 円）を添えて受付に申し込み下さい。**参加章と発表論文集**等をお渡します。なお受付時間は両日とも **9 時 30 分～13 時 30 分**です。  
\*お荷物をクロークにお預けになる方は、受付時にお申し出下さい。お荷物とお引き換えに番号札をお渡します。クロークは **【S1-12】** 教室です。  
\*7 日（土）夕刻より行われる情報交換会について受付時にご案内します。当日参加をされる方は、受付時に情報交換会参加費（一般 4,500 円・大学院生と学部学生 3,500 円）をお支払い下さい。

#### 【IV】会場関係

受付・発表・講演会・総会はすべて **S1 号館** の 1 階か 2 階 (S1-21) になります。

1. 発表会場・講演会会場・各種会議場 (4 つの教室を使用：**S1-21 のみ 2F** (S1-13 の真上))
  - (1) 発表会場①：**S1-13 教室** (54 名収容)
  - (2) 発表会場②：**S1-21 教室** (54 名収容)
  - (3) 研究企画：**S1-14 教室** (123 名収容)
  - (4) 会務総会：**S1-13 教室**
  - (5) 理事会および編集委員会：**S1-13 教室**
  - (6) クローク・準備室：**S1-12 教室** (20 名収容)
2. 休憩室：研究企画の時間帯以外の時間帯で **S1-14 教室** をご使用下さい。お飲み物を用意しておきます。なお喫煙は指定の喫煙所をお願いいたします (場所は受付にお尋ね下さい)。
3. クローク (**S1-12 教室**)：貴重品は各自で管理をお願いします。  
7 日 (土)：9 時 30 分～**17 時 55 分**まで (情報交換会参加の方：その前までに受け取り下さい)。  
8 日 (日)：9 時 30 分～**14 時 30 分**まで
4. 情報交換会  
7 日 (土)：18 時 00 分～20 時 00 分まで (会場：厚生会館 (S1 号館から徒歩 1 分))
5. 託児所：ご用意できませんので、ご了承下さい。
6. 駐車場：ご利用の方は、事前に [ikajiwara@yamanashi.ac.jp](mailto:ikajiwara@yamanashi.ac.jp) までお問い合わせ下さい。可能な限りお車でのご来場ではなく、公共交通機関のご利用をお願いいたします。
7. 本部：学会事務局および年会事務局は **S1-12 教室** です。

#### 【V】研究企画：「文学作品の謎解き読み－国語教育研究の立場からの評価－」(**S1-14 教室**)

第 14 回年会準備委員会では講演に代えて、研究企画を準備しました。7 月 7 日 (土) 15 時 45 分～17 時 45 分まで、後述の三人の先生方をお迎えして開催します。奮ってご参加下さい (研究企画のみ参加ご希望の方はその旨お伝え下さい)。

#### 【VI】その他

1. 昼食について  
大学構内 (道路を挟む) にローソン、また大学から歩いて 5 分以内にセブンイレブン、中華料理店などがあります。今大会ではお弁当の用意はいたしませんので、各自ご用意下さい。
2. その他  
会期中にご不明な点は年会準備委員、スタッフまでお尋ね下さい。

#### 【VII】研究発表について

1. 各発表に割り当てられた時間は、**発表 15 分、討論 15 分の計 30 分**です。時間内に発表と質疑を終了して下さい。「発表取り消し」があった場合には、それ以降の発表を繰り上げます。
2. 発表者が欠席した場合には、「発表取り消し」になります。ただし、連名発表者がいる場合には、連名発表者が発表を代行できます。受付までご連絡下さい。
3. 当日、配付資料がある場合には各自で **50 部程度**ご用意の上、会場の一番後ろの机上 (入口側) に置いて下さい (会場に係員は配置しておりません)。
4. 会場①では、パソコン (**Windows10、Microsoft PowerPoint 2016**) とプロジェクタが、会場②では (**Windows7、Microsoft PowerPoint 2010**) とプロジェクタが利用可能です。使用予定の方は少し早めに会場にお越しの上、そのパソコンで各自のデータが不具合なく映し出されるかどうか、ご確認下さい。また DVD を使用される場合も、不具合なく映し出されるかどうか、ご確認下さい。会場に用意したパソコンでご自身のデータが使用できるかどうかご不安な場合、パソコンを持参いただきますようお願いいたします。

## 【Ⅷ】研究企画案内

### 【研究企画】文学作品の謎解き読み—国語教育研究の立場からの評価—

第14回年会準備委員会では講演に代えて研究企画を準備しました。日本教授学習心理学会・国語科授業研究会運営委員会『国語科授業研究会 2015 年度報告書』の冒頭に紹介されていますように、本学会員の作間慎一氏は文学作品の謎解き読みを、「お手紙」「鹿」「ごんぎつね」「一つの花」「走れメロス」で提案・実践されています。そして近年、本学会において謎解き読みは国語科授業研究会として組織的に取り組まれてきています。その謎解き読みの大きな特徴は、従来の定番化された解釈を塗り替えて新しいアспектを見せてくれる点にあると思います。“新しい読解論”として評価されてよいと思われる謎解き読みは、国語教育研究の領域の先生方から見たとき、どのような評価となるのか。この評価を、文学教育の課題状況を含めて、茅野政徳氏（山梨大学）と中村龍一氏（松蔭大学）にお願いしました。三人の先生方にお話しいただいた後、全体討議を通して、文学作品の謎解き読みについて考える機会にしたいと思います。なお参加者の皆様に研究企画の内容を共有いただけるように、作間氏には詩「鹿」（村野四郎）を主たる事例として、謎解き読みについてお話しいただくようにしています。

#### 【登壇者】

##### (1) 茅野政徳氏（山梨大学・国語科教育）

- ・[職歴] 川崎市立小学校、横浜国立大学附属小学校、東京学芸大学附属小学校で21年の勤務を経て、今年度より山梨大学教職大学院に勤務。国語科教育の中でも、伝記を用いた国語科学習、日常の言語生活との関連を図る多様なテキストを用いた単元学習などを研究領域としている。
- ・[著書論文等]
  - ①「戦後小学校国語検定教科書における宮沢賢治の伝記教材の変遷」全国大学国語教育学会『国語科教育』第75集（2014.3）。
  - ②「多様な情報や実体験をもとにして自分の考えをつくりあげよう「だれに『風が吹いている』?!」の単元開発」日本国語教育学会『国語教育研究（No.505）』（2014.5）。

##### (2) 中村龍一氏（松蔭大学・国語教育）

- ・[職歴] 千葉県習志野市内公立中学校国語科教員、教育委員会指導主事、公立小学校校長などを経て、2007年4月、都留文科大学非常勤講師、東邦大学附属中高等学校講師、2013年から松蔭大学コミュニケーション文化学部教授。国語教育と近現代文学を研究テーマとしている。
- ・[著書論文等]
  - ①『「語り論」がひらく文学の授業』（2012）ひつじ書房
  - ②『文学の教材研究』（2014）教育出版

##### (3) 作間慎一氏（玉川大学名誉教授：教授学習心理学）

- ・[職歴] 1980年から2012年まで、玉川大学通信教育部、教育学部、教職大学院にて教授学習心理学についての教育研究活動に従事する。
- ・[著書論文等]
  - ①「文学作品の学習目標としてのアспектの転換—児童による『鹿』のアспектの転換とその指導—」教授学習心理学研究第4巻2号（2008）。
  - ②「児童の文学作品の謎解き読みに関する実践的検討—謎解き読みによる『お手紙』のアспектの転換—」教授学習心理学研究第8巻2号（2012）。

# 日本教授学習心理学会 第 14 回 年会 日程表

	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
					20					
⇒ 受付	9:30	10:00 ~ 12:00 個人発表1 (S1-13 : 4件)  個人発表2 (S1-21 : 4件)	12:10 ~ 13:10 理事会 S1-13	13:30 ~ 15:30 個人発表3 (S1-13 : 4件)  個人発表4 (S1-21 : 3件)	15:45 ~ 17:45 研究企画 (S1-14)	18:00 ~ 20:00 情報交換会 (厚生会館) 2F				
⇒ 受付	9:30	10:00 ~ 12:00 個人発表5 (S1-13 : 4件)  個人発表6 (S1-21 : 4件)	12:10 ~ 13:10 編集委員会 S1-13	13:30 ~ 14:30 会務総会 S1-13						

(\*) 個人発表 1 終了後に**理事会**、個人発表 5 終了後に**編集委員会**が **S1-13 教室**で行われますので、**S1-13 教室**での発表者の方は、最終発表者の発表終了後、別教室に速やかに移動をお願いします。

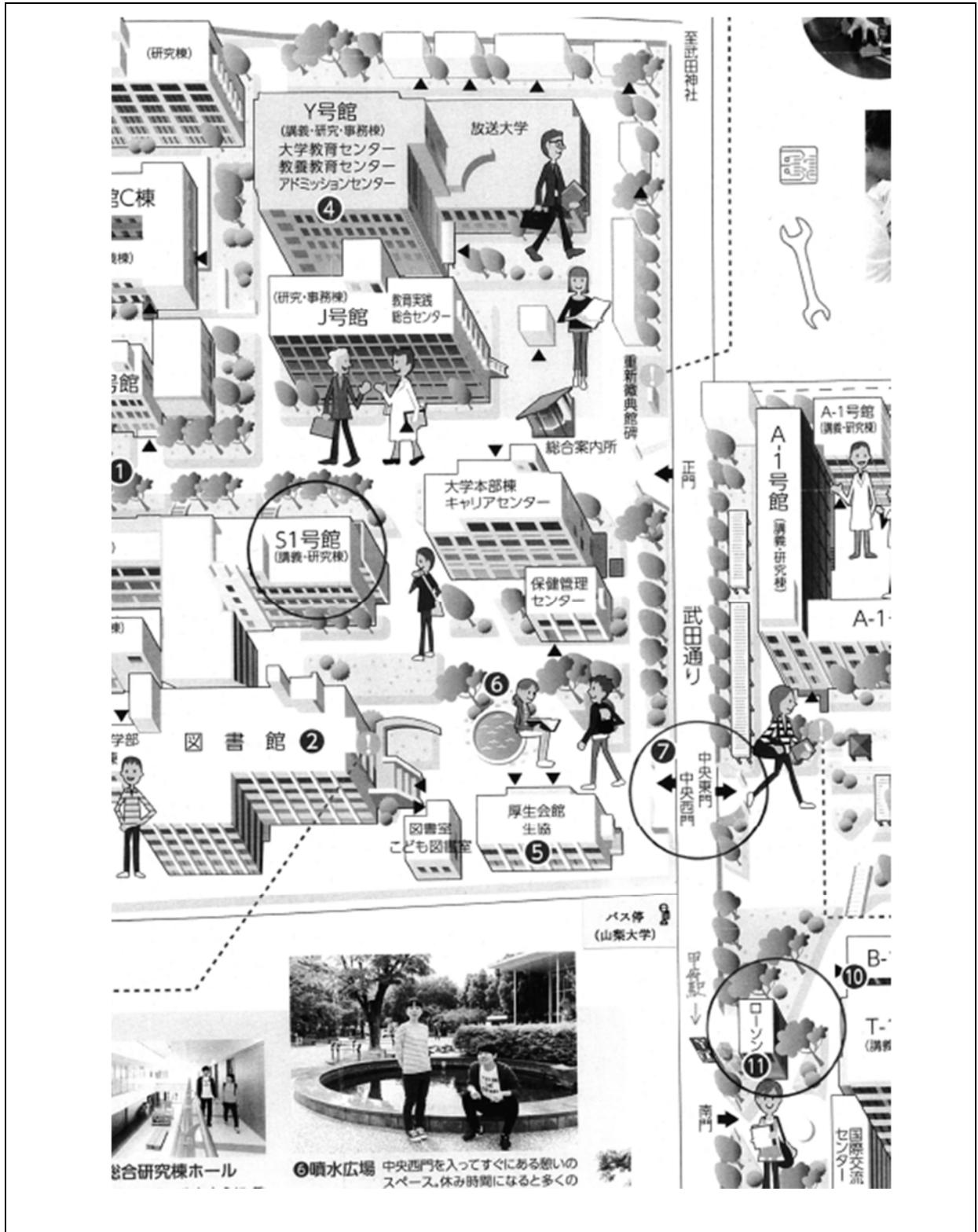
.....

## バス時刻表 (土日の時刻表) : 【甲府駅←→山梨大学】

甲府駅北口 2 番バス乗り場 ⇒ 山梨大学 (武田神社・積翠寺方面)																					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px 10px;">8:19</td><td style="padding: 2px 10px;">9:09</td><td style="padding: 2px 10px;">9:39</td><td style="padding: 2px 10px;">10:04</td></tr> <tr><td style="padding: 2px 10px;">10:34</td><td style="padding: 2px 10px;">11:04</td><td style="padding: 2px 10px;">11:34</td><td style="padding: 2px 10px;">12:04</td></tr> <tr><td style="padding: 2px 10px;">12:34</td><td style="padding: 2px 10px;">13:04</td><td style="padding: 2px 10px;">13:34</td><td style="padding: 2px 10px;">14:04</td></tr> <tr><td style="padding: 2px 10px;">14:34</td><td style="padding: 2px 10px;">15:04</td><td style="padding: 2px 10px;">15:34</td><td style="padding: 2px 10px;">16:04</td></tr> <tr><td style="padding: 2px 10px;">16:34</td><td style="padding: 2px 10px;">17:04</td><td style="padding: 2px 10px;">17:19</td><td style="padding: 2px 10px;">17:34</td></tr> </table>		8:19	9:09	9:39	10:04	10:34	11:04	11:34	12:04	12:34	13:04	13:34	14:04	14:34	15:04	15:34	16:04	16:34	17:04	17:19	17:34
8:19	9:09	9:39	10:04																		
10:34	11:04	11:34	12:04																		
12:34	13:04	13:34	14:04																		
14:34	15:04	15:34	16:04																		
16:34	17:04	17:19	17:34																		
山梨大学 ⇒ 甲府駅北口 2 番バス乗り場 (甲府駅北口方面)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px 10px;">12:04</td><td style="padding: 2px 10px;">12:34</td><td style="padding: 2px 10px;">13:04</td><td style="padding: 2px 10px;">13:34</td></tr> <tr><td style="padding: 2px 10px;">14:04</td><td style="padding: 2px 10px;">14:34</td><td style="padding: 2px 10px;">15:04</td><td style="padding: 2px 10px;">15:34</td></tr> <tr><td style="padding: 2px 10px;">16:04</td><td style="padding: 2px 10px;">16:34</td><td style="padding: 2px 10px;">17:04</td><td style="padding: 2px 10px;">17:24</td></tr> <tr><td style="padding: 2px 10px;">17:49</td><td style="padding: 2px 10px;">18:04</td><td style="padding: 2px 10px;">18:34</td><td style="padding: 2px 10px;">19:04</td></tr> <tr><td style="padding: 2px 10px;">19:49</td><td style="padding: 2px 10px;">20:19</td><td></td><td></td></tr> </table>	12:04	12:34	13:04	13:34	14:04	14:34	15:04	15:34	16:04	16:34	17:04	17:24	17:49	18:04	18:34	19:04	19:49	20:19		
12:04	12:34	13:04	13:34																		
14:04	14:34	15:04	15:34																		
16:04	16:34	17:04	17:24																		
17:49	18:04	18:34	19:04																		
19:49	20:19																				

【会場地図】

- ・発表会場は下図【⑦中央西門】（バス停「山梨大学」すぐ）を入れてすぐに見える建物【S1号館】です。表紙写真中の通行人（傘）と重なっている建物が【S1号館】です。
- ・情報交換会会場は下図【⑤厚生会館（生協）】です。



## 【研究発表スケジュール】

(各発表：発表 15 分・討論 15 分)

個人発表 1 (7 月 7 日 10:00~12:00)		会場①：S1-13 教室
		司会：久米弘 (九州大学) 佐藤 淳 (北海学園大学)
1	授業における学習者の理解を促すための ICT 活用について ○下司 裕樹 (九州大学大学院) 久米 弘 (九州大学)	
2	学校と日常における深い理解体験の比較 平 真木夫 (宮城教育大学)	
3	授業にかかわる 3 つの「論理」について—授業過程を研究するための枠組みの提案— 工藤 与志文 (東北大学)	
4	「参勤交代」に関する大学生の不十分な認識について—「大名行列に大名は何人いるか」への回答分析から— 佐藤 淳 (北海学園大学)	

(\* ) この教室は 12:10 より理事会会議の会場となります。

個人発表 2 (7 月 7 日 10:00~12:00)		会場②：S1-21 教室
		司会：石田淳一 (横浜国立大学) 斎藤裕 (新潟県立大学)
1	仮分数を帯分数になおす教授学習過程—授業内容の構想・実践・効果— ○末木 貴大 (北杜市立小淵沢小学校) 梶原 郁郎 (山梨大学)	
2	既習の計算方法を明示する問題提示の効果—同分母分数の加法問題を用いて— 石田 淳一 (横浜国立大学)	
3	小学校第 6 学年における期待値の大小判断に関する認識の様相 口分田 政史 (福井大学)	
4	「関係操作」理解支援を基盤とした図形学習・教授—学習方略の試みⅡ 斎藤 裕 (新潟県立大学)	

個人発表 3 (7 月 7 日 13:30~15:30)		会場①：S1-13 教室
		司会：工藤与志文 (東北大学) 進藤聡彦 (放送大学)
1	疑似例外の直接的反証が誤ルールの修正と興味に及ぼす効果 ○佐藤 康司 (盛岡大学) 後藤 彩 (飯豊町立第二小学校)	
2	科学的ルールの学習に及ぼす知識システム化の効果 ○佐藤 誠子 (石巻専修大学) 西林 克彦 (元東北福祉大学) 進藤 聡彦 (放送大学) 工藤 与志文 (東北大学)	
3	中学校理科における湿度の授業に関する実践研究 (1) —授業プランと事前調査の結果— ○小野 耕一 (仙台市立中山中学校) 蛭名 正司 (会津大学)	
4	中学校理科における湿度の授業に関する実践研究 (2) —事後調査の結果と授業過程の分析— ○蛭名 正司 (会津大学) 小野 耕一 (仙台市立中山中学校)	

個人発表 4 (7月7日 13:30~15:00)		会場②: S1-21 教室
		司会: 齋藤嘉則 (香川大学) 崎濱秀行 (阪南大学)
1	文法事項の教授・学習過程改善に資する実験的研究 齋藤 嘉則 (香川大学)	
2	最初のプランニング活動の有無が文章産出プロセスに及ぼす影響ー第 2 言語 (英語) による文章産出の場合ー 崎濱 秀行 (阪南大学)	
3	速読技術を含む読書方略指導の効果に関する研究 ○寺田 正嗣 (九州大学大学院) 久米 弘 (九州大学)	

個人発表 5 (7月8日 10:00~12:00)		会場①: S1-13 教室
		司会: 吉國秀人 (兵庫教育大学) 平真木夫 (宮城教育大学)
1	学生の昆虫に対する意識についてー苦手な形質と触れなくなる時期ー 穂積 訓 (茨城キリスト教大学)	
2	動物の形とくらしの相即性の認識可能性の検討ー生活科の授業実践を通してー ○吉國 秀人 (兵庫教育大学) 黒岩 督 (兵庫教育大学) 小倉 誠 (日置市立伊集院小学校)	
3	「からだ」育成の視点による小学校表現運動の批判的考察 ○佐藤 仁紀 (宮城教育大学大学院) 平 真木夫 (宮城教育大学)	
4	中学生の運動に関する語彙獲得にみる課題と、巧緻性を高める具体的な工夫ー身体知とメタ認知ー ○草野 有希 (仙台市立七郷中学校) 平 真木夫 (宮城教育大学)	

(\*) この教室は 12:10 より編集委員会会議の会場となります。

個人発表 6 (7月8日 10:00~12:00)		会場②: S1-21 教室
		司会: 小口祐一 (茨城大学) 大道一弘 (常磐大学)
1	リアクション・ペーパーの内容と学習上の達成度との関連ー講義内容と関連が低い RP 記述に注目してー 舛田 弘子 (札幌学院大学)	
2	教員養成における算数に対する学習者の意識の変化 ○野村 幸代 (高知大学) 松村 初 (茨城大学) 小口 祐一 (茨城大学)	
3	課題構造オーガナイザーの提示が大学新生の日本語タイピングに対する意識に及ぼす効果 大道 一弘 (常磐大学)	
4	大学教員が中学校長となったときー中学校のエスノグラフィーー 荒井 龍弥 (仙台大学)	

発表申し込みを行い予稿原稿集の原稿ファイル (PDF) を梶原・大道まで添付送付された方で、プログラムに掲載されていない方がもしおられましたら、大至急 (5月25日 12時まで)、梶原までメール (ikajiwara@yamanashi.ac.jp) かお電話 (055-220-8246) お願い致します。



(\*) 暑い甲府にて皆様のご来場を心よりお待ちしております。